

6 北海道における特徴的な取組み

(1) 北海道洞爺湖サミット記念「国際交流森林環境フォーラム」の開催

洞爺湖町において北海道洞爺湖サミットが開催されることを記念するとともに、「美しい森林づくり推進国民運動」の一環として、平成 20 年 6 月 28 日に「国際交流森林環境フォーラム」を開催しました。

当日は海外からの参加者をはじめ、森林ボランティア団体や一般市民の皆さんなど総勢約 170 名の参加があり、噴火によって森林が失われた有珠山金比羅山火山口周辺で、ミズナラなど 450 本の広葉樹を植え付けました。

その後、洞爺湖畔に会場を移し、地球温暖化防止対策に関し、森林総合研究所の研究者による基調講演を行ったほか、国際ワークキャンプの参加者と留学生により、海外の森林における火災被害や台風被害等について発表が行われ、最後に森林づくりに積極的に取り組むことを内容とする「森林環境宣言」を採択しました。

森林環境宣言（全文）

かつて我々人類は、自然の恵みを利用し、自然と共生して生活を営んできた。そして、我々は、その英知を結集させ、豊かな生活の実現と利便性を追求し、現在の繁栄を得るに至った。

しかし、この繁栄が、地球温暖化の進行など、このかけがえのない地球を犠牲にして成り立っていることを知り、また、世界の至る所でこれまで経験したことのない様々な異常現象や危機的状況を目の当たりにし、地球の有限性を悟った。

人類は、今こそ、知恵と努力を結集して美しい星、地球を取り戻し、次の世代の子供たちに、母なる大地、生命の源である森林を健全にして引き継いでいかなければならない。

地球規模で起こっている環境問題に国境などはない。世界の人々が手を取り合って協力し、行動すれば必ずこの地球を救うことができる。僅か1本の木を植えることが世界に広がれば、地球温暖化の進行を食い止めるだけでなく、海や川の環境も豊かとなり、地球の環境は確実に変わるに違いない。

今、私たちは、森林づくりに積極的に取り組むことを、ここに宣言する。



フォーラムの様子

実施場所：洞爺湖町（後志森林管理署管内）

(2) 北海道との育樹祭の共催

北海道森林管理局では、平成 20 年 9 月に、北海道との共催により斜里町ウトロにおいて美しい森林づくり「森林のつどい 2008 育樹祭」を開催しました。

会場は知床世界自然遺産地域に隣接する地域の人工林で、この森林を立派に育てて、後世に引き継ぐとともに、森林づくりの大切さなどを地域住民の皆さんに理解していただき、今後の森林づくり活動を一層推進していくために開催されました。

育樹祭には 100 名を超える地域住民の皆さんが参加し、トドマツ人工林の間伐作業などを行ったほか、ミニコンサートなども行われました。



開会式の様子



間伐作業の様子

実施場所：斜里町（網走南部森林管理署管内ウトロ国有林）